



平成 21 年 9 月 24 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 キ リ ン 堂  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 寺 西 忠 幸  
 会 長 兼 社 長  
 (コード番号 2660 東証第一部・大証第二部)  
 問 合 せ 先 専 務 取 締 役 井 村 登  
 (TEL. 06-6394-0039 (代表))

平成 22 年 2 月 期 通 期 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

最近の業績動向を踏まえ、平成 21 年 3 月 31 日に公表しました「平成 22 年 2 月 期 (平成 21 年 2 月 16 日～平成 22 年 2 月 15 日)」の業績予想 (連結・個別) を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 通期業績予想の修正 (平成 21 年 2 月 16 日～平成 22 年 2 月 15 日)

## ①連 結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A) (平成 21 年 3 月 31 日)	112,200	2,400	2,600	250	22.06
今 回 修 正 予 想 (B)	106,000	1,500	1,700	△250	△22.06
増 減 額 (B-A)	△6,200	△900	△900	△500	
増 減 率 (%)	△5.5	△37.5	△34.6	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月 期)	106,695	1,781	2,030	500	45.86

## ②個 別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 予 想 (A) (平成 21 年 3 月 31 日)	103,000	2,200	2,400	500	44.13
今 回 修 正 予 想 (B)	97,700	1,500	1,800	180	15.89
増 減 額 (B-A)	△5,300	△700	△600	△320	
増 減 率 (%)	△5.1	△31.8	△25.0	△64.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 21 年 2 月 期)	97,000	1,707	2,022	678	62.18

## 2. 通期業績予想の修正理由

第2四半期累計期間の業績において、当社グループは、来店促進を図るためのクレジットカードの導入や販売価格の見直し、ヘルス&ビューティ商品の販売強化などの既存店活性化対策に加え、改正薬事法施行や新型インフルエンザ発生による関連商品需要への対応にも努めてまいりました。

しかしながら、消費者の買い控え傾向の強まりと企業間の競争激化による来店客数の伸び悩み、天候不順の影響により販売が低迷いたしました。

また利益面におきましても、売上総利益率の低下をカバーすべく、コストコントロールに注力し、販売費及び一般管理費は計画を下回ったものの、売上総利益の減少を補うには至りませんでした。

この結果、平成21年9月18日に公表のとおり、第2四半期累計期間の業績（連結・個別）を下方修正いたしました。

9月度の売上高は、インフルエンザ関連商品特需により、第2四半期累計期間に比べて改善傾向となっておりますが、第3四半期以降も、個人消費は引き続き厳しい環境が続くと予想され、当社グループにとっても厳しい経営環境が想定されます。

そのような環境の中、当社グループでは、第2四半期会計期間に実施した組織変更を機に、中長期的な成長基盤の確立と企業価値向上に向けた、組織及び現場の構造改革に踏み切っております。

具体的には、ブロック長を中心とした現場力の強化、提案型の販促施策の展開、ヘルス&ビューティを強化した定番回帰の売場づくり、プライベートブランド商品の開発などの諸施策を推進中であります。

また、経費につきましても、経費削減プロジェクトを主導とした施策の計画的な実行により、経費の効率的な活用と削減に努めてまいります。

しかしながら、通期の業績予想につきましては、第2四半期累計期間の減少分を吸収するのは難しいと判断することから、連結・個別ともに、上記「1. 通期業績予想の修正」のとおり、前回予想を変更いたします。

なお、通期の個別業績の修正につきましては、主として、連結業績と同一の要因によるものであります。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上